

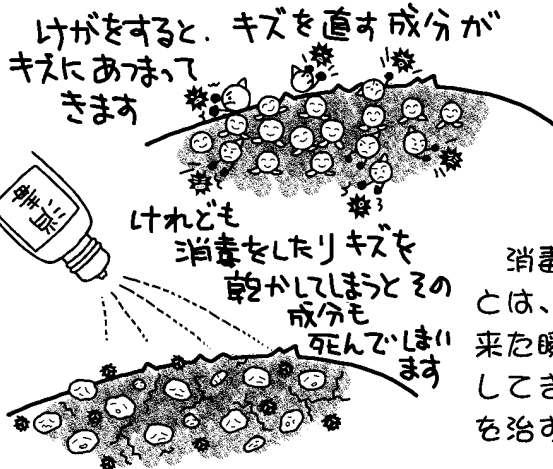
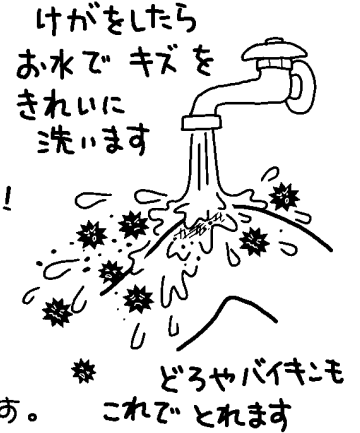
# キズのおはなし



9月にはいい遠足や運動会。子どもをおもちの親御さんにとっては、またまたイベント目白押し季節となりました。そこで今回、キズについてちょっといいことをお教えしたいと思えます。

傷を魔法のように速く、痛くなく治す方法があるんです。なんと「消毒をしないことと傷を乾かさないこと」。たったこれだけです。これさえ守れば、あいかき傷なんて数日で治ってしまうのです。

楽しい運動会。なかでもリレーは最後の最後まで目が離せないくらい盛り上がりまあね。でも思い余って足がからまってドーン!!! 膝小僧をあいかいた、なんてことありませんか? そんな時、といあえあごー!!してから水道水できれいにキズを洗いましょう。ドロも砂ほこいもバイキンも水道水で洗い流します。ちょっとピリッとするけど、がんばってね。石が入り込んでたらとくにきれいにしたほうが良いでしょう。これだけであいぶんキズの治りが違うのです。



あうちの救急箱によくある消毒薬 (マキロン・アクリノール・イソジン・オキシドールなど) は不要です。消毒あるとかえって治るのが遅くない、痕が残ってしまいます。きれいにキズを洗い流せば、はい菌はいなくなまから心配はいりません。

消毒あると痛い上にしみます。この「しみる」ということは、キズ口を広げているようなものなのです。キズは出来た瞬間から自分で治そうと動き、それで傷口がジクジクしてきまあが、この黄色いシムミたいなのは、実はキズを治す成分がいっはい含まれているのです。

キズを消毒したい乾かしたいあると、キズを治そうとがんばっている細胞が死んじやうのです。だからキズを乾かしたい、消毒したいしちや駄目なれあね。洗ったあと、キズは何で覆えはいいでしょうあ? なんとこれ、食品用のラップで覆うだけでいいの。ラップでぐるぐる巻きにしてもいいし、四隅をビニールテープで固定してもいいあ。さらにその上にタオルで覆って包帯をしまあしよう (真夏であれば一日2回くらい交換あ)。これを毎日取り換えていけば、あいかきキズなれあ数日で治ってしまいます。超簡単・便利。しかも体にやさしい処置方法あです。

でもこうあ知識、実は現場のお医者さんにもよく知られていないため、病院に行くあキズを消毒されちやいああが、この文章の最後にあるインターネットのホームページでは「キズは消毒しない、乾かさない」で治療しているお医者さんのリストがあいまあので、参考にしあ下さい。

